令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 上平井幼稚園

当園ではこの度、令和６年度の幼稚園学校評価として、教職員による自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この自己評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

Ⅰ.教育目標

①人間形成の基礎を育てる
幼稚園とは、子ども社会の中でお互いの心や身体の痛みを知り、成長していく場所。まわりの子ども達との関わりの中でやさしさ、思いやりの心を育み、相手の気持ちを察することのできる子に育つよう指導・援助していきます。

②豊かな表現力を育てる
音楽表現、絵画・言語表現、身体表現など、自分の気持ちをあらゆる方法で表現する子どもは、さまざまな活動を通じて成長します。しかし、結果重視の教育では表現の幅を狭め、才能の芽を摘むことにもなりかねません。プロセスを大切にし、時間をかけて適切に指導・援助していきます。

③たくましい心と体を育てる
心の成長に、身体の成長は欠かせません。「本来のたくましさとは感情の豊かさである」と考え、子どもの「やってみたい」を大切に、体力・運動能力の向上を図っています。2歳児から5歳児まで、それぞれに独自のカリキュラムを用意し、個々の特性に応じて指導・援助していきます。

④自ら考え、自ら判断し、行動できる子を育てる
脳が急速に発達する幼児期は、思考力、想像力、判断力を育てるのに最適な時期です。当園では、教師と子ども達が共感し合い、「気づき」と「発見」を喜び合う『SIあそび』を通じて、幼児が自ら学んでいく力を育て、個々の特性に応じて指導・援助していきます。

Ⅱ.本年度の重点的な目標

●職員研修の充実
●園児の安全確認
●食育の充実
●地域への情報発信

Ⅲ.評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	取組み状況	
1	職員研修の充実	子どもたちの保育環境をより整える為、教員の為の研修を充実させる。 ・SI遊びの園内研修を実施する ・臨床の先生をお招きし、発達に関する研修を受ける。 ・各自が受けたい研修を、受講できる環境を整える。	B	●研修は他者との意見交換を通して自身では気づかなかった子どもへの対応方法を身に付ける事が出来、とても有意義である。また、それによって様々な取り組みの共通認識化も図れている。 ●SI研修や外部講師の招聘、希望者向けPCスキル講座など様々な研修が用意されているので、自身の必要に応じてスキルアップを図ることができる。 ●臨床の先生を定期的に招くことで、教育に対して不安な事項を相談し易い環境である。
2	園児の安全確認	園内業務の効率化・利用者の利便性向上を目的として、中長期的にIT化を進めていく。 ・バスメールをGPS機能が付いたものに出来ないかの検討を行う。 ・園内のノートPCの台数を増やし、中期的にはPC、アプリを利用した出欠管理の導入を目指す。	B	●手書き作業をPC入力へと変更したり、各種アプリケーション（バスメールや欠席連絡）導入などIT化を進めることで園運営の効率化と保護者の利便性向上を両立できている。 ●また、IT化は請求漏れなどケアレスミスの防止にも寄与している。 ●非ITの領域においても、一学期中に年間行事の内容を決定することで、見通しをもって準備を進めることができている。
評価項目		取組み内容	取組み状況	
3	食育の充実	教職員と栄養士・調理スタッフとの協力・連携体制を整え、子ども達の「選食力」「食事のマナー」「文化の伝承」へとつなげる。また、ご家庭への食育に関する情報発信を充実させ、保護者との共通理解を深める。	A	●ふりかけやみそ作りなど様々な体験によって食材を身近に感じる取り組みや、文化の学習を行っている。 ●保護者に対する試食会や日頃の食事状況の報告などを通して家庭との連携も密に行うことができている。 ●食事中の姿勢や食器を置く位置、調理スタッフへ自発的にお礼を伝えるよう促すことで食を通したマナーの教育も実施している。
4	地域への情報発信	地域に根付く教育機関として、園の活動・方針を広く地域に発信し、地域の子育てに貢献する。 ・HPの内容を充実させ、より多くの方に見て貰えるようにする。 ・インスタグラムを使った情報発信を継続・内容の更なる向上を図る。 ・夏季に教職員全員で、地域への情報発信でどのような取り組みができるかを検討する。	A	●HPやInstagram、YouTubeなど情報発信の媒体を充実させることで、地域との接点機会を確保できている。また、発信内容は画像と動画を併用することで、具体的に日頃の取り組みを地域の方や保護者に伝えることができている。 ●一方的な情報発信ではなく、保護者からのコメントや感想を頂くことで双方向性を持たせ質の向上に繋げている。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 上平井幼稚園

Ⅳ. 今後取り組むべき課題

1	職員研修の充実	●外部講習も受講可能とすることで、より個々人の課題に沿った学習を行いたい。 ●研修時間が延びることが往々にして発生し、その他の業務へ支障が出ている。 ●研修講師の資料作成が大きな負担となっているため、一部標準化するなど効率化を図るべきである。
2	園児の安全確認	●日案や週案などまだ手書き作業が多く残っているため、更なるIT化を進める必要がある。 ●互いに仕事内容を共有し、手が空いている者同士で業務をカバーし合うことで全体的な効率性を高める必要がある。
3	食育の充実	●教職員と栄養士/調理スタッフの方々と交流（意見交換）し、子ども達の様子を共有できる場があればよりよい食育に繋げられる。 ●リクエストメニューが学期に1回あると子どもたちにとってさらに美味しさや食を通じた楽しさを提供できる。
4	地域への情報発信	●行事の準備や役員（保護者）の仕事も発信することで、外部に対して子どもとの関わり以外における日常業務を知っていただく機会を設けたい。 ●Instagramには日々の行事や保育の様子、HPには献立のみ、と絞ることで更新の手間を省く。同時に、各サービスをリンクで繋ぎ、利用者が欲しい情報を取得しやすい環境を構築する必要がある。

Ⅴ. 学校関係者の評価

R7年 3月
保護者代表3名に紙面にてヒアリング

1.園が自己評価で設定した目標・計画は適切であったか
全員が適切に実施されていると判断した。
・当園に通うことで、食育の重要さを改めて実感した。

2. 評価結果の内容は適切であったか
全員が適切に実施されていると判断した。
・Instagram及びYouTubeでの発信頻度が今年度は増加したことで、園での教育や子どもの様子が把握できた。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか
全員が適切に実施されていると判断した。
・学期ごとに1度はリクエストメニュー等あれば子どもたちは喜ぶと思うので、実施して欲しい。
・先生の負担を考慮した働きやすい職場であってほしい。

4. 今後園に期待することがあれば教えてください
・食育や園行事を縮小することなく、楽しく学べる幼稚園であることを願っています。
・子どもたち一人ひとりを大切に温かく見守ってくださる園であり、今後も継続して地域に根ざした園づくりを期待しています。
・子育て経験がある教員が居ることで保護者としても安心して子どもを預けることができるので、
教員が結婚や出産などライフステージが変わっても働きやすい職場であることを願っています。
・他園には無い食育への高いこだわりを感じるので、これからも継続してほしい。

以上